

茨城県常陸太田市立金砂小学校（学校長 日座 正人）

実施日	平成20年2月5日（火）	時間	午前10時～午後1時30分
実施場所	視聴覚室，教室	対象/人数	1～6年生52名、保護者10名
担当教諭	檜山 文江	ファシリテーター	根本 久美子
講師	アンバー チャン（オーストラリア 県国際交流員） オレリアン・パロン（フランス 県国際交流員）		

活動内容

オーストラリア/フランスの紹介、質問タイム
みんなで活動・ゲームなど
ハートゲーム（5・6年対象）
ふれあい給食

児童の感想

・ぼくはワールドキャラバンでアンバーさんとパロンさんと学習して、フランスとオーストラリアのことをいろいろ教えてもらいました。最初にハートゲームをして助け合いながら生きていくことを学習しました。次にパロンさんとフランスのことを学習しました。パロンさんは、フランスのチーズのことや国の鳥のことなどをおもしろく教えてくれたので楽しかったです。次にアンバーさんと学習しました。アンバーさんは、写真や実物を使って教えてくれたのでとても分かりやすかったです。今日は楽しく交流や学習ができたのでよかったです。

・わたしはアンバー先生との学習では、動物のことや、お金を見ました。動物あてがおもしろかったです。パロン先生とでは、先生がフランスのはたけのようさをさがすときにふざけたりしたのがおもしろかったです。またこんな学習があったらいいと思いました。

先生の感想

・全校生が交流の機会をもてたことがよかった。

・具体的な話の資料を持参して、学年の児童がよく分かるように工夫されていたことがありがたかった。

・ハートゲームでは、児童が楽しく活動しながら世界平和や協力の大切さを感じることができてよかった。

・限られた時間にも全児童が名刺交換をし、自己表現できたことがよかった。

・事後の児童の感想に学んだことがはっきり分かる感想文が多かったことがよかった。

・全校生で取り組むために内容を2つに分けて行ったが、時間がもう少しあると良かった。

保護者の感想

・国際交流教育の内容が授業公開によってよく分かった。

・人権やいじめ、国際協力の精神などゲームや交流する子ども達の姿を見て理解できたような気がする。

成果と課題

・フランスやオーストラリアの国々の自然や文化を紹介していただき、他の国への興味関心が高まった。

・フランス語等での簡単なあいさつを教えていただき、繰り返し覚えようと真剣に学ぶ態度が見られ、外国語への関心が高まった。

・自分の国だけでなく、他の国へ行って働き、国際交流を自ら進んで行っている姿に触れ、生き方への思いを広げた。

・ゲームを通して、児童が国際協力や人権について考えることができ、国と国との助け合いが大切であるなどの感想を持つことができた。

・時間に余裕がない場面があったので、今後は余裕を持った計画をたて十分交流できるようにしたい。

